

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170300521		
法人名	株式会社ライフサポートNEO		
事業所名	原古賀紀水苑		
所在地	佐賀県鳥栖市原古賀町854番地		
自己評価作成日	平成23年3月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年3月28日	外部評価確定日	平成23年5月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・個別ケアを重視し、入居者個々のレベル(ADL)に合わせたケアを実践します。 ・入居者様個々の残存機能の維持・ADL低下防止に努めます。 ・地域交流を積極的に行い、地域密着を目指しています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>静閑な住宅街の一角に位置する木造平屋造りのグループホームで、敷地内の南側には、季節の花を植えた花壇と野菜畑があり、リビングからウッドデッキを通り外を眺める事が出来、入居者を和ませてくれる。個別ケアを重視して、入居者の持てる残存機能の維持・ADL低下防止に努めている。職員は明るく、地域の方とよくコミュニケーションがとれている。毎月の苑だよりは、敢えて手書きにして気持ちを伝えるようにしている。</p>
---

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝の申し送りの際に理念斉唱している。又、施設目標でもある為、毎日斉唱し、念頭において目標達成に向け、実践に繋げている。	「利用者様の身になって、利用者様の言葉に耳を傾け、利用者様と共に歩む」を管理者と職員は毎朝唱和して、その理念を共有して実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回の溝掃除及びゴミ捨て場の清掃に欠かさず参加し、地域の文化祭などの行事へ進んで参加している。	地区の自治会にも加入し、月1回の溝掃除やゴミ置き場の掃除には、地域の一員として参加している。又夏祭りには、多数の方を招き、バザー等に協力して頂いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々を招待した事業を開催や地域運営推進会議開催に合わせて、認知症サポーター研修を開催など地域の方々を招待し、認知症高齢者を理解して頂き地域で支える環境作りを目指している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、苑行事の計画発表及び、報告など、ご意見頂き、調整会議にご意見を検討し、サービス向上に繋げている。	会議は偶数月に開催しており、苑の事業計画や行事、入居者の状況等報告をしている。包括支援センターの職員や多数の家族の出席を得ており、意見等も出されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鳥栖広域などの行政機関へ積極的足を運び、困難事例解決に向けた相談など行い、協力関係を築いている。	鳥栖広域介護保険組合など行政担当とは連携を密にして、入居者の事等の相談を行い、協力関係を構築している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に施錠は行っていない。入居様が自由に出入り出来る環境である。又、身体拘束ゼロに向けたケアを実践している。	職員は、身体拘束の弊害をよく理解しており、拘束の事例は無い。玄関のカギかけもなく入居者が自由に出入り出来るようにしながら、見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の地域運営推進会議や自施設での勉強会を開催し、虐待の無いケアに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	青年後見人制度についての研修会へ参加し、職員へアナウンスしている。又、推進会議にてご案内など行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約を締結して頂く時点で、ご家族様が十分な理解と納得をして頂ける様ご説明している。改定等についても同様に努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々、入居者様を支援させて頂いている中で入居様からの意見、要望があった際は直ちに調整会議にて検討し、意見要望の反映に努めている。家族についても同様に面会時、推進会議の際にその都度ご意見を頂いた際は検討し、反映に向け努めている。	玄関には意見箱を設置しており、利用者や家族が意見を表し易い体制にしている。家族の面会も頻繁にあり、その折には日々の支援の中での入居者の様子等を報告して要望等を聴くようにしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見・要望の吸い上げは調整会議及び個人面談などを通して大切にしている。上がった意見を会社に伝え、検討し、意見要望反映に向け取り組んでいる。	調整会議として月1回、同一法人の5施設の管理者会議が実施されているので、施設長は事前に職員と個別面談をし、意見・要望の集約をしたうえで会議に臨んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者より定期的な報告及び人事考課制度を参考に、職員個々の勤務状況を把握している。また、代表者より直接、職員との意見交換をおこなっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者の報告及び人事考課表を参考に把握している。トレーニング等については外部開催の研修参加案内、また独自に資格支援制度を導入個々のスキルアップを図れるよう取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	鳥栖地区のGH連絡協議会介入し、開催される研修会などへ積極的に参加し、交流を図っている。また、定期的に近隣の事業所等へ訪問し、情報交換を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に至る前に直接ご本人様と面会し、アセスメントを収集し、入居後安心して苑での生活を送って頂ける様努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様は勿論ですが、ご家族様についても同様に不安、負担の軽減が出来るよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設見学の方や入居前の面接の際、介護保険を利用した施設外サービスや、要介護者のニーズに合う、サービス等情報を提供している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様個々のADLに合わせ、出来る範囲でのお手伝い等して頂いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際などに状態報告を行うと同時に、ご本人様の要望などご家族の協力を得て、要望実現が出来るよう随時ご相談を行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に馴染みの物の持参を願う。また、馴染みの方のご面会をして頂けるよう働きかけている。	近隣からの入居者が多く、馴染みの人の面会も多い。又、協力医院・歯科医院が徒歩で、5分位の所にあり、散歩をかねて診療に行くと知人に会う機会も多い。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	基本的にご本人様のペースを大切にしているが、孤立しないよう環境作りや、入居者様同士の関わりがもてるレクリエーションを計画している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご都合により退所された方、長期入院の為退所された方など定期的に面会し、ご本人及びご家族様の不安軽減が出来るよう努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々、ケアをさせて頂いている中で、入居者様に耳を傾け、希望・要望があれば、会議にて検討及びご家族様に協力を依頼し、希望・意向の実現に向け、努めている。	毎朝の起床時の着替えの手伝いや、入浴時等日々のケアの時に、入居者と交流しながら希望や要望を把握している。それが困難な入居者については、家族から要望や意見を聴いている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご家族様及び担当ソーシャルワーカー、ケアマネジャーより情報提供頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々ケアさせて頂いている中で、入居者様個々の状態観察を行い、記録に残し状態把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントシートを作成し、各担当者及び全職員の記入、ご本人、ご家族意見を吸い上げ、サービス担当者会議後にケアマネジャーにて作成している。	日々のケアで、その日の食事・レク・夜勤の担当があり、全職員が入居者に関わりを持つようにし、本人、家族の意見を汲み取りながら介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録に詳細に記載し、調整会議にて変化を検討し、介護計画見直しへ繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護保険外でのサービスなどご本人のニーズに沿ったサービスの情報提供を行っている。また、ご意見頂いたサービスについては多機能化に向け会社で検討を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣に病院があり、歩いて馴染みの病院へ定期受診している。また、地域行事の積極的な参加を行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に協力医療機関を利用しているが、状況に応じた病院の選択、ご家族ご本人の希望される医療機関への受診が出来るよう努めている。	基本的に協力医療機関を受診されている入居者が多いが、希望される場合は、入居前からのかかりつけ医の受診もできるようにしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態変化に応じて、介護職員から看護師へ報告、管理者へ報告後、ご家族へ受診の促しを行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に訪問し、担当医師、ソーシャルワーカー、看護師と情報交換し、早期退院に向け努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約を締結する時点で、終末期におけるターミナルケアについて、方針をご説明し、同意を頂いている。また、定期的に終末期についての意向を確認している。	入居契約時に終末期におけるターミナルケアについて、家族に方針の説明をし、同意を頂いている。また、定期的に家族に意思の確認をしているが、現在まで、看とりはない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回の救急隊による救命講習にて応急手当の研修を行うと同時に日々の業務の中で、その都度対応法について各職員へアナウンスしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署員立会いでの避難訓練及び自主訓練を実施している。	消防署立会いの中で、AED機器を使用した救命救急の訓練や、夜間想定避難訓練を実施している。地域に消防団が無いので、地域の方々に協力依頼をしている。来年度はスプリンクラーの設置を予定している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様個々の人格を尊重しているが、不適切な言葉掛けを行う場面があるので、改善に向け、取り組んでいる。	一人ひとりの人格を尊重しながら対応しており、支援をする時のさりげない言葉かけについても全職員が配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々、生活の中で自己決定して頂く場面を多く図り、個別ケアを行い、思い、希望の抽出に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様主体の介護を目指し、本人様のペースに合わせた支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、食事後の整容を徹底している。また自己選択が可能な方については着替えの際の衣類選択を職員と一緒にやっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お手伝いが可能な方については出来る範囲以内で共同作業を行っている。また、メニューについては希望を聞いたり、季節物を取り入れるなど努めている。	もやしの芽取りや土筆のはかま取りや配膳の手伝い等出来る事を手伝って頂いている。スタッフは介助をしながら一緒に食事を摂り、会話を楽しみながら和やかな雰囲気の中で食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期水分摂取時間の確保及び入居者様個々の食事量など考慮し、摂取していただけるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの徹底。基本的に自力で歯磨きして頂き、職員の一部介助。義歯の水の中保管及び定期消毒を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失敗を減らすため、定期トイレご案内を実施している。	一人ひとりの排泄パターンを把握してトイレ誘導をする等自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を目指し、食物繊維を含む食物を提供している。また、専門医にて受診し、便秘軽減に向け努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に2日に1回だが、ご希望があれば毎日入浴して頂いている。	基本的に2日に1回の入浴としているが、希望があれば、何時でも入浴出来る。入浴出来ない入居者には足浴や清拭等で支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様の生活習慣を尊重し、休養して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容の変更があった際は申し送りノートへ記載し、情報の共有を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様が得意なもの(縫い物、折り紙など)興味があるものをご本人、ご家族様から情報を収集し、趣味や興味があるものに積極的に取り組んで頂けるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月苑行事で外出や買い物へ出る機会を設定しているが、その他についてもご家族の協力を得て、外出して頂くよう努めている。	日常的に散歩を日課として取り入れており、食材の買い物の同行もして貰っている。又、家族の協力を得て外泊や、旅行等をする入居者もいる。苑の行事でも外出の計画をしている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に職員で管理しているが、希望よって買い物へ出るよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀はがきの一言記入をして頂いている。また希望があれば電話の取次ぎを行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を味わって頂くようその時期に応じた装飾を施している。	玄関や出入り口からリビングに続いており、台所からも見守りができるようになっている。ソファを対面に置き、入居者同士の会話ができるようにしている。廊下を中心に部屋があり、広々とした開放感のある造りとなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	基本的にご本人様のペースを重視しているが、孤立しないよう入居者様同士が関わりあえるレクリエーションの計画や苑での雰囲気づくりに努めている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご本人の馴染みの物を持参頂くようお願いしている。	各居室には洗面台があり、清潔感が保てるようにしている。入居者は、座椅子やこたつ等使い慣れた物を持ち込んだり居心地良く過ごせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	残存機能の維持、低下防止に努めている。出来ないところを支援させて頂くよう努めている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)  
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない